

蛇おどり

南条支部 奥野 宏

平成4年に、「特色ある学校体育・スポーツ推進校」3年間県指定、続いて「武道指導研究推進校」文部省指定3年間で勤務校今庄中学校で受けることが決定しました。

研究協議の中で授業だけに留まらず、全生徒が一同に参加できるマスをゲームを実施することになりました。ねらいの第一は、生徒がこのマスをゲームを通して楽しく、自然に剣道の基本的な足掻き、太刀の振り技を学ぶことでした。

次のねらいは、地域性ゆたかなマスをゲームを創作するため、地元で伝わる「夜叉ヶ池の龍」の伝説と「羽根曾踊り」の一部を現代風にアレンジし、和太鼓のリズムに合わせることにしました。

退職を目前にしたこの年から、私の専門外の課外授業が始まりました。何かに取りつかれたかのように青竹を組み、和紙を貼り龍頭を造りました。昔使った手刷りの謄写機で、胴体となる布地に鱗を刷り込みました。

20数年を経過して、当時制作した5体の龍頭や尾部とともに21世紀を表徴する21mの胴体は

幾度も生徒や保護者の手で補強や色の塗り替えがなされています。一方、「蛇おどり」の演技や和太鼓の節回しも驚いたことに制作当時の原型が伝承されています。

毎年、体育会が近づく頃、校庭の近くで軽やかな和太鼓の音色と共に龍の踊る姿が見られます。

数十年もタイムスリップして当時を懐かしく思い出すと共に継承して頂いていることに強い感動と感謝の念が湧き起ります。



地域の宝を守り・伝える！

各地域には豊かな自然、貴重な生き物、民話、古典芸能、伝統行事等の宝がある。これらを守り伝え、地域貢献・地域創生を生きがいに取り組まれている会員の活動を紹介します。



オキナグサを蘇らせる会

大野支部 吉田伊奈子

春、雪が解けるとロゼット状の葉を起こし、中心からうぶ毛を纏った葉や茎を伸ばす。花柄の先にこれまた絹毛に覆われたつぼみ状のものを伸ばし、やがて鐘形で長さ3cmぐらいの花が下向きに開く。黒ユリにも似た暗赤紫色は実に可愛らしく盗掘の対象にもなつたらしい。

やがて、花びらはなくなり透き通つた丸形になり、真っ白く変化していく。その様が翁の銀髪のようなこと、オキナグサの和名がついたようだ。

この野草は、50

年程前までは、六呂師高原の至る所に自生し、會長の松田先生は綿毛でボールが作れたと話される。それが、1985年頃、元会長の山本さんが2株見つけたという報告を最後に、姿を消し、2004年には、県下でほぼ絶滅したと認められた。

2002年7月、自然大好き7名で「オキナグサを蘇らせる

会」を立ち上げた。私の参加は2005年からだが、前述の山本さんが、子どもたちに種播きを推奨し、ご自分もプランターの緑の苗を慈しんでおられるのを見ていたので、入会に迷いはなかった。

六呂師にオキナグサを蘇らせるために、先ず、会員が各自の畑で苗作りをすることから始まった。立派に育つた200株を自然保護センター横の土手に移植した。しかし、8年目の現在、2株程しか生存していない。種子を団子状にして播いたり、場所を変えて植えたり、活動を試みているが、期待からは程遠い。

ただ、スキー場の一角、80㎡を畑にし、そのオキナグサ園では、花見会が開ける。野生に帰すための学習を事務局の田中さんを中心に続けている。



T T Tサークル活動紹介

3

T つどい・T 愉しみ・T 高め合う

退職後、気の合う仲間が「つどい・愉しみ・高め合い(T・T・T)」ながら、創作やスポーツ、健康づくりに取り組んでいる会員がたくさんおられます。

「人生を味わうー広がり&深まりー」を活動スローガンに掲げている県退教として、こうした会員の声を通して活動の様子をシリーズで紹介し、より「豊かで充実した生活づくり」につながればと願っています。

私がそうであるように、歌仲間の皆さんもプロでもないし、プロを目指すこともなく、のんびり、ゆっくり微笑みながら歌の楽しさ、音楽の温かさを感じ合っています。

現在の私は、歌仲間と一緒に、美しい日本の童謡等を中心に、色んな曲を楽しく歌っています。



のんびり、ゆっくり

坂井支部 奥田 康雄

週に数回、皆さんと音楽を通して、そのすばらしさ、温かさを味わえる喜びに感謝しています。

また、檀家の皆様と一緒に、永代経、報恩構時に仏教賛歌、童謡等を歌うことも、心が洗われるひとときです。地域の温かい心と、美しい音楽に囲まれながら、のんびり、ゆっくり…



宝永公民館絵画クラブ

―青の会の活動―

福井支部 山口 悦子

月3回の木曜日、宝永公民館で絵画クラブが行われています。講師は元藤島中学校長清水正男先生です。講座生は退職教職員4名を含む老若男女15名。和気あいあい、時には先生のダジャレも入り、楽しく思い思いの作品に取り組んでいます。

最初は、鉛筆デッサンの方法を学びました。光と影をいかに表現していくか、形をどの様な線で描くのか、太さ濃さ速さなど、子どもたちに絵画の指導をしていながら描けないもどかしさを現職の時に感じていただけに、毎回の学びは新鮮でなるほどというなづくことばかり。しかしそう簡単に上達するはずもなく、前向きに楽しみながら描く心を育てています。発表の場は主として公民館祭りですが、昨年は先生のおかげで県の造形展にまで出品させて頂きました。

最近ではアクリル絵の具に取り組む人もいて、表現方法



が広がってきています。絵は個性、その人らしさが出るまで追求できると良いとのこと。果たしてその域になれるのか?と。



でこんぼの森

吉田支部 吉川 芳男

子どもからお年寄りまで、誰もが気軽にやって来て、ワイワイガヤガヤ、思い思いの自然体験ができる里山。宮沢賢治の童話「虔十公園林」のような森づくりに人生後半のロマンを求めた17年間。

「でこんぼの森」と名づけ、毎年1000人以上の人がやってくる。とりわけ主旨に賛同(?)した26名の仲間は、毎週土曜日、陶芸を中心に活動しながら受け入れ団体の体験学習(森の探検、自然観察、火おこし、川遊び、木のぼり、炭焼き、陶芸等々)の活動支援準備に余念がない。

坂井市のある学校は毎年



やって来て、まず陶芸、そして森の探検、川遊び、弁当食べて栗拾いとゆっくり1日を過ごす。

森の活動は人(特に子ども)の心をいやし、気力を育み、知恵を生む。そして、学びの源を掘り起こす格好の場にもなる。

今後自然のすばらしい恵みを体全体で受けとめ、享受しながら、後続の新しい仲間

に伝授、感得してもらえよう。浄法寺山青少年旅行村の麓にある「でこんぼの森」にて。

わくわくする気持ち

三方支部 一瀬 繁紘

10年前に37年間の教職生活を終えた時には、「さあこれからは第二の人生、今までの出来なかつたことに取り組むぞ。」と意気込んでいたにもかかわらず、社会教育指導員をはじめいろいろな役に就くことになり、自分の思い通りにはいきません。でもその中で、8年前から取り組んできた小学校での読み聞かせ(通



称「わくわく」の会)は、自分の中に新しい息吹を感じさせるものとなりました。月に1回15人の仲間と共に、朝の読書の時間20分間、絵本を中心とした読み聞かせを行っています。最近の子どもたちの



文字離れを少しでも解消し、豊かな創造性の翼を広げてほしいという強い思いから出発したのですが、子どもたちの前に立つと、そんな思いはどこへやら。さらさら輝き、一生懸命お話の中に飛び込んできてくれる子どもたちの姿に感動。毎回毎回、私たち読み手もそれこそ「わくわく」した気持ちで臨んでいますし、子どもたちから逆に大きな夢も与えられています。最近では、お隣の保育所からも要請があり、やはり月1回、さらに私たちのわくわく感が高まっています。

教育請願署名御礼

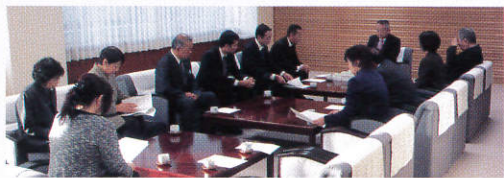
今年も9月から10月にかけて「福井の教育をよくする請願署名」をお願いしましたところ、7332筆の署名が集まりました。

「地区内を4回まわってきたの」と言って、130筆を出されたAさんは、暑い中、汗を拭き拭き自転車で回られたとか、その熱意に頭が下がりました。

また、一句を添えて送ってこられた方もいました。「宿題がめでたく済んで回る寿司」。皆様のご協力により目標を達成された嬉しさに浸り、口にされたお寿司はさぞかし美味しかったことと拝察します。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。

11月19日には他の5団体集約分を合わせて76000筆余を、県議会へ持って行き、福井っ子の教育をより一層よくするため、議長にお願いして頂きました。

一筆一筆に込められた皆様様の思いが、必ずや福井の明日の教育をよくしてくれるものと期待されます。



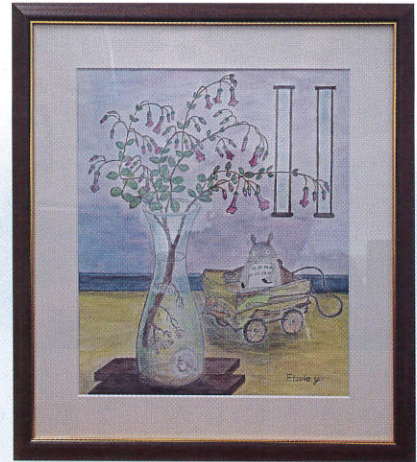
県退教ミニギャラリー作品より



デッサン 「ガクアジサイ」
金林晶子氏 (福井支部)



染画 帯「つるのおんがえし」
高橋千鶴子氏 (丹生支部)



水彩画 「Dream」
山口悦子氏 (福井支部)



絵手紙 「羅喉羅」
島田真保子氏 (福井支部)



ラン 乾 昭治氏 (福井支部)
年間を通して展示



日本画 「龍双ヶ滝」
田埜邦子氏 (福井支部)

ミニギャラリー 作品募集

◎ 絵画・写真・工芸品手芸品・書・短歌俳句等
お気軽に出品ください。
ご連絡は県退教へ。

◎ 心に残る作品が出品されています。近くへお越しの折はぜひご鑑賞ください。

会員物故者氏名 (敬称略)
(H26年11月20日現在)
謹んでご冥福をお祈りします。

福井	吉田	大飯	勝山	小浜	福井	鯖江	大野	今立	福井	福井
菅原	松井	村松	島田	井崎	西川	宮川	門前	野瀬	高橋	中田
磯夫	宏一	順子	とよ子	清五郎	マツラ	隆夫	正道	ふさ子	昭治	みき江
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
9	9	8	8	8	8	7	7	6	3	
8	5	3	23	14	10	6	27	21	26	
89	88	86	83	91	89	80	88	88	85	83

編集後記

戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火。これからの皆様にも花開かせる機会があった多くのあたら命を落とされた方々のご冥福を祈らずにはおられません。と同時に、科学の進歩した現在にあっても、いまだ防ぎ切れない自然の猛威に心を痛めます。

この号もまた、多くの皆様方のキラキラ輝くお姿をご紹介できますことを一同喜んでおります。編集にご協力くださいました皆様方にお礼申し上げます。

(鋸屋恵美子、中川美津恵、室賀幸子)

吉田	今立	三方	福井	大飯	鯖江	大野	福井	南条	今立	今立	吉田	武生	勝山			
小倉	梅田	鈴木	西野	喜代二	平鍋	木村	齊藤	山内	鈴木	榎谷	大野	長谷川	川上	春日	野地	野地
秀雄	雅文	喜乃枝	乃枝	乃枝	千都子	千男	政雄	政雄	美智子	一夫	秀之	保子	志子	隆子	隆子	隆子
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9
17	13	11	2	2	27	24	20	20	17	12	12	11	23	22	22	22
90	87	90	83	91	77	90	87	84	89	84	89	89	88	87	87	87